

令和4年度第3回金沢市行政改革推進委員会 会議概要

1 日時 令和5年2月27日（月）午前10時00分～午前11時25分

2 場所 金沢市役所第二本庁舎 2301会議室（リモート会議方式）

3 出席者（委員及び本部員等）

委員 (15名)	合田 篤子(委員長) 山口 いづみ 鶴山 庄市 細井 一夫 前 千代子 栴田 和枝 佐藤 絢子 山崎 裕司（敬称略）	坂下 清司 濱崎 英明 川端 知哉 横山 邦春 本谷 悦子 村山 愛乃 中島 一茂
本部員等 (18名)	(行政改革推進本部員) 副市長 教育長 公営企業管理者 都市政策局長 総務局長 文化スポーツ局長 農林水産局長 市民局長 福祉健康局長 こども未来局長 環境局長 都市整備局長 土木局長 危機管理監 会計管理者 市立病院事務局長 (行政改革推進本部幹事) 人事課長 デジタル行政戦略課長	相川 一郎 野口 弘 平嶋 正実 新保 博之 松田 滋人 東 利裕 山森 健直 松田 俊司 高柳 晃一 藤木 由里 加藤 弘行 坪田 英孝 坂本 敦志 上野 浩一 朝倉 豊 荒舘 誠 川畑 宏樹 佐野 宏昭

4 議題

- (1) 芸術文化ホールにおける指定管理者の選考から公募への変更について
- (2) 行政経営プラン（素案）に係るパブリックコメントの結果について
- (3) 金沢市行政経営プラン（案）について

(1) 芸術文化ホールにおける指定管理者の選考から公募への変更について

No	委員の意見要旨	回答要旨
1	<p>〔文化ホール活性化事業〕に関して</p> <p>芸術文化ホールの活性化事業の実施期間は、コロナ禍の影響が大きかった期間であると思うが、支障はなかったのか。</p>	<p>（文化スポーツ局長）</p> <p>確かに令和3年度からの2年間、新型コロナウイルスの影響は大きく、実施期間中、施設の利用を制限することもあった。そのため、MICE受け入れ体制構築など一部で実施できなかった事業はある。</p> <p>一方で、ブルーノート東京等の著名なコンサートの誘致や会議棟を活用した音楽イベントの開催、近隣施設と連携した企画展を実施するなど、コロナ禍であってもできる限りの取り組みを実施し、新たなサービスの創出等の効果を得たことは評価している。</p> <p>また、施設における感染拡大防止対策が充分に行われるなど、公共の施設としての適正な管理運営とサービス向上の両立も確認できたと考えている。</p>

(3) 金沢市行政経営プラン（案）について

No	委員の意見要旨	回答要旨
2	<p>〔債券による資金運用〕に関して</p> <p>「79 債券による資金運用を実施」について、めざす姿に「資金運用に関する収入が増加している」とのことだが、現在どういう方針で運用しているのか(購入、売却、銘柄、外部からの助言等)。また、今後の金利上昇局面においてどのように対応するのか(売却、保有の判断</p>	<p>（会計管理者）</p> <p>本市では、資金運用に関して「資金運用方針」を定め、この方針に基づき、安全かつ効率的な運用を図ることとしており、主に大口定期預金での運用を行っている。</p> <p>しかしながら、低金利の時代が長く続いたことから、証券会社等からの情報や助言を参考に、今年度から、満期保有を前提として20年国債での運用を開始したところである。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
	等)。	<p>今後とも情報収集に努め、国債以外の債券での運用も視野に、金利の状況に応じて購入する債券の年限や銘柄などを選定し、安全かつ、より効率的な資金運用をめざしていきたいと考えている。</p>
3	<p>〔職員の生産性向上〕に関して</p> <p>「(1) 量の改革から質を高める改革へ」の「職員の生産性向上」とはどのようなことか。生産性が向上したとどう判断するのか。</p>	<p>(デジタル行政戦略課長)</p> <p>時代に即した質の高い行政サービスを持続的に提供していくためには、職員の企画力などの能力を高めるとともに、業務を効率化することにより生まれるマンパワーを、新たに必要とされる業務に振り分けていく必要があると考えており、そのことを「職員の生産性の向上」と表現したところである。</p> <p>こうした能力の向上や効率化したことでどのようなサービスが生まれたかについて客観的に評価することは難しいため、今回のプランでは、方針1にある働き方のDXや職員の意識改革の項目に掲げた取り組みを計画どおり実践していくことを生産性向上の成果としたい。</p>
4	<p>〔宇宙関連セミナー等〕に関して</p> <p>「50 産官学連携による宇宙関連セミナー等の開催」について、宇宙というテーマはどういう経緯で出現したのか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>金沢市と宇宙の関係は、約30年前から始まった。平成4年に、毛利衛宇宙飛行士が国として選抜した宇宙飛行士として初めて宇宙へ行き、その2年後には向井千秋宇宙飛行士が同じく宇宙に行っている。宇宙開発の様子を見た当時の山出保市長が、ぜひ金沢の子供たちの宇宙への夢を育みたいとして、平成7年7月に、当時の日本宇宙少年団理事長である松本零士氏を金沢市に招き、日本宇宙少年団金沢支部を結成した。また、支部の子供たちの活動場所として、平成10年10月、現在のキゴ山ふれあい研修センター天文学習棟の前身であるキゴ山天体観察センターが設置され、その際の設置の目的として、「宇宙教育」が掲げられた。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
		<p>宇宙教育とは、金沢市キゴ山ふれあい研修センター条例においては、宇宙に関する科学的な知見、宇宙開発及び利用を支える科学技術等に係る体験的な学習等を通じて、宇宙及び科学について関心を深めるとともに、探求する意欲を喚起し、青少年の夢及び希望を育む取り組みと定義されている。</p> <p>本市ではこの目的に鑑み、平成 28 年度に「金沢市宇宙教育推進計画」を策定し、その後、国の宇宙開発等についての法律改正に合わせ、令和元年度には「金沢市宇宙教育推進計画 2021」を策定し、計画の推進に取り組んできた。</p> <p>当該計画においては、「宇宙の視座から未来を拓く 金沢のひと・まちづくり」を基本理念とし、「宇宙の学びを深め未来を創造する人材の育成」及び「広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり」をテーマに、JAXA や国立天文台との連携を通じた幅広い世代を対象とした学習機会の提供に取り組んできたが、その成果として、より高度で先進的な情報や技術へのニーズが高まっている。</p> <p>今後は産学官の連携をより深め、宇宙ビジネス、宇宙開発等の新たな分野へ挑戦するため、起業家育成講座等、新たな価値創造につながる事業に取り組んでいく。</p>
5	<p>〔評価指標設定〕に関して</p> <p>各取組事項ごとに評価指標の設定はあるか。目標設定や評価指標設定のあり方について、今後十分な検討をしてくださるとのことだが、どの部署がどのように検討を行っていくのか。</p>	<p>(デジタル行政戦略課長)</p> <p>成果指標のあり方については、取り組みごとの目的や性格が異なることから目標や評価指標の設定に、統一的なルールは設けていないが、今回のプランから、取り組みの達成状況について、新たに、実施結果を 2 段に分け、達成したか否かといった評価だけではなくその内容も合わせて記載する方式を採用したところであり、今後、プランを所管するデジタル行政戦略課と各個別施策を所管する担当課が協議しながら、皆様にわかりやすい形で、それぞれの評価をお示ししていきたい。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
6	<p>〔評価指標設定〕に関して</p> <p>すでに数値目標が掲げられている取組もあるが、「めざす姿」が何かの増加や削減そのものである場合を除いては、数値目標を掲げることが本当に適切か疑問に感じるものもある（例えば「1 職員による課題解決アプリの実践数」は、数値の達成＝働き方や業務の改善がされた、とは必ずしも言えないのではないか）。数値目標は分かりやすく便利な指標であるが、それ自体が目的になり「めざす姿」を見失ってしまう弊害もあるように思う。数値化できないものの評価指標設定についてプロジェクトチームを立ち上げ、先進事例の調査など研究を進めてはいかがか。</p>	<p>（デジタル行政戦略課長）</p> <p>ご指摘のとおり、数値目標は達成状況がわかりやすい反面、数値目標自体が目的化し、本来の目的を見失う場合がある。プランの実践にあたっては、そのようなことのないよう注意していきたい。</p> <p>なお、成果指標の考え方については、他の委員からもご質問をいただいているところであり、デジタル行政戦略課において、ご提案の先進事例の調査など、より良い方策について、検討していきたい。</p>
7	<p>〔マイナンバーカードの活用策〕に関して</p> <p>「7 マイナンバーカードを職員証とし職員の出退勤管理に活用」について、マイナンバーカードの普及促進を進めていく立場として、市の職員自らがマイナンバーカードを活用していくことは重要であると思うが、この他にマイナンバーカードの活用策は検討しているのか。</p>	<p>（デジタル行政戦略課長）</p> <p>マイナンバーカードは、デジタル社会の基盤となるものであり、金沢市民の申請率は、すでに7割を超えている。今後、健康保険証や運転免許証としての利用に加え、行政サービスでの活用も期待されており、本市でも、市民の利便性が高まるサービスを増やしていきたい。</p> <p>現在、マイナンバーカードで本人確認をすることにより、コンビニで、住民票の写し等の交付が受けられるほか、戸籍の事項証明書や国民健康保険の加入などの81の手続きがオンラインで申請できるようになっている。来年度は、そうした手続きを増やしていくとともに、3月の議会で明年度予算をお認めいただければ、マイナンバーカードを認証することで、図書館カー</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
		ドなど、市が発行するカード類を一元化するスマートフォンアプリを開発することとしており、こうしたサービスを拡大していきたい。
8	<p>〔大雪への対応〕に関して</p> <p>行財政運営の課題①自然災害の頻発について、具体的なデータはないが、ここ最近の雪は、短期間で大量に降る特徴があると感じている。大雪が降ったときに、例えば、市有施設を閉館する基準や、学校を休校にする基準を設けたり（既にある場合は見直しの検討）、市役所職員を原則リモート勤務とするなどのルールを設けると、民間企業も参考にしやすいのではないかと思うが、いかがか。</p>	<p>（総務局長）</p> <p>本市では、大雪警報が発表され、排雪場を開設した場合で、さらに降雪が見込まれる場合などに、雪害対策本部を設置し、市内の除雪体制を強化するとともに、市民に対し外出自粛などの注意喚起を行っているところである。</p> <p>一方で、学校の休校をはじめ、市施設の雪による閉館については、施設ごとに設置目的や利用者層、場所などの条件が異なることから、統一的な基準を設けることは難しいことをご理解願いたい。各施設の休館情報などについては、市民の皆様への影響を考え、迅速に発信していきたい。</p> <p>また、職員の出勤については、大雪への対応は勿論、窓口業務や相談業務もあることから、ご提案の「原則リモート勤務」とすることは考えていないが、現在も、業務に支障のない職員については、リモート勤務を実施しているところである。</p>
9	<p>〔旧都ホテル跡地〕に関して</p> <p>行財政運営の課題④交通網の変化・大規模イベントの開催について、金沢駅兼六園口前の旧都ホテル跡地の状況はどうなっているか。</p>	<p>（都市政策局長）</p> <p>旧都ホテル跡地に関しては、所有者である近鉄不動産に対し、各界各層からの強い思いを伝えるとともに、開発の方向性が一日でも早く示されることをお願いしてきているところである。先方からは、アフターコロナを見据えた金沢の玄関口にふさわしい開発に向けて、責任を持って進めていきたい、との意向を確認しており、引き続き、情報共有とともに、早期の開発を働きかけていきたい。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
10	<p>〔マイナンバーカードの職員証化〕に関して</p> <p>「7 マイナンバーカードを職員証とし職員の出退勤管理に活用」について、マイナンバーカードの出勤カードとしての活用については結構だと思うが、職員証＝市職員としての身分証として活用は可能なのか。（市民に市職員であるとの確認ができるものが職員証であると思われる。市民サイドからみれば、マイナンバーカードで職員かどうかわかるはずがないので、詐欺等に巻き込まれてしまうなどの心配がある。また、身分証を別に作る（紙等）なら、マイナンバーカードのコマーシャルだけかえって行政改革に反する可能性もあるのでいかがかと思う。）</p>	<p>（人事課長）</p> <p>本取組は、国や他の自治体の導入例を参考に、マイナンバーカードの職員証としての利用と出退勤管理のための活用をあわせて行うこととしたものである。</p> <p>具体的には、マイナンバーカードの顔写真を利用した職員証で、マイナンバーカードの氏名・顔写真にあたる部分を透明にしたものをマイナンバーカードと重ね合わせ、専用のケースに入れて使用するものである。</p> <p>これにより、職員証用に写真撮影を行う必要がなくなり、撮影経費の削減や職員の事務負担軽減、職員証発行までの期間短縮などの効果が期待できる。</p>
11	<p>〔数値目標〕に関して</p> <p>今回のプランは質を高めることを重視したプランとなっているが、各取組管理票をみると依然として数値目標がメインの事業（22,34,35,36,37番など）が見受けられるが、いかがなものか。</p>	<p>（デジタル行政戦略課長）</p> <p>これまでの行政改革は、削減、廃止、見直しのイメージが強くこの方向性を一新するため、今回のプランでは「量」から「質」へと表現したものであり、個別の取組についての目標は、数値目標も含め、目的や性格に応じて、個別に設定している。</p> <p>ご指摘の数値目標がメインの30番台の事業は、主にボランティアの育成に関する事業であることから、育成する人数を目標としたものである。また、22番のデジタル行政推進リーダーについても、同様に、育成する人数を目標としたものである。</p> <p>このように、取組の結果がわかりやすいように、個々の目標を設定していることをご理解願いたい。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
12	<p>〔水道情報活用システム〕に関して</p> <p>「89 水道事業における水道情報活用システムによる効率的な運営」について、具体的にどのような業務の効率化が期待できるのか。</p>	<p>(公営企業管理者)</p> <p>水道情報活用システムは、国が共通基盤として構築しているものであり、データの配列やデータの処理等を、全国の水道事業者が共通して取り組めるように整備されたシステムである。本システムを活用することで、製造メーカーへの依存解消による経費の削減や、タブレットを用いた現場での監視制御も可能になり、事業継続計画やセキュリティ対策の強化などが図られることとなる。</p> <p>今後は、水道情報活用システムの利活用で得られた知見や効果等を、石川中央都市圏の市町と共有することで、広域連携の推進につなげていきたいと考えている。</p>
13	<p>〔山間地の人口減少対策〕に関して</p> <p>人口減少や超高齢化が進む中、特に山間地は農地の耕作放棄地が増え農地の保全にも悪影響を及ぼしている。この様な中、他の市町村では積極的な支援制度を立ち上げ、移住者を呼び込んでいるが金沢市の山間地では、人口減少が激しく移住者も少ない。その様なことから、山間地に対する移住促進や定住促進について、どのような支援策があるのか、また、山間地の人口減少対策についてどのように考えているのか教えてほしい。</p>	<p>(農林水産局長)</p> <p>中山間地域では、三谷さとやま交流広場や、金沢湯涌みどりの里などの交流施設を拠点とし、市民農園の利用や、地域団体と協働で行う各種イベントの開催など、交流人口の増加及び活性化に努めてきた。</p> <p>明年度は、こうした施設を活用した新たなイベントを実施するなど、さらなる地域の活性化を図っていきたいと考えている。</p> <p>また旧東浅川小学校の跡地については、市民と一体となった森づくりの拠点施設としての利用検討を開始する。</p> <p>加えて、地域おこし協力隊を活用し、地域おこし支援や農林業に従事する方の定住・定着を図っていきたいと考えている。</p> <p>一方、耕作放棄地の発生を防ぐため、地域の農業者による集落営農組織等を設立し、農地の共同管理による営農継続を推進している。この組織等に対し、日本型直接支払制度や農業機械及び施設等の支援を行っていることから、制度</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
		<p>のさらなる活用を呼び掛けていく。</p> <p>現在、湯涌地区において、地域の特性を活かした活性化策や定住促進策につながる土地利用について検討しているところであり、これらの取組を通じて、定住促進につながる方策を見出していきたい。</p> <p>また他の中山間地区の中にも同様な課題があることから今後、地域と話し合いながら定住促進につながる方策を検討していきたい。</p>
14	<p>〔金沢産材の需要拡大〕に関して</p> <p>市営造林の主伐が今後進められることについて、金沢産材の消費拡大に向けた取組みがより一層求められると思うが、その対策はどうなっているのか。また、地権者に対して収益の一部をできる限り還元できるように努力してほしいと思うがいかがか。</p>	<p>（農林水産局長）</p> <p>金沢産材の消費拡大については、これまで、新築住宅に金沢産のスギ柱を使用した場合に補助金を出す「木のあるくらしづくり奨励事業」や、保育所や小学校等の公共施設での利用を図ってきている。</p> <p>また、持続可能な森林経営を証明する森林認証を取得することで、金沢産材の価値を高める取組みも進めている。</p> <p>消費拡大には、金沢産材の安定的な供給が必要と考えており、そのためには、市営造林の計画的な主伐の推進が求められる。明年度は、3月の議会で明年度予算をお認めいただければ、市内全域の森林を対象に地形・樹種・資源量等の森林情報を航空レーザーで計測・解析し、市営造林運用計画を策定し、市営造林の主伐を本格化していく。</p> <p>あわせて、採算を見込むために、市有地の市営造林の立木を試験的に売却することを予定している。</p> <p>今後、主伐を進める中で、地権者にできるだけ収益を還元できるように努めていきたい。</p>
15	<p>〔大学生と地域の連携〕に関して</p> <p>大学生と連携し、まちづくりや地域活性化を図ることはたいへん大事であると思う</p>	<p>（都市政策局長）</p> <p>現在、本市では8つの高等教育機関と連携協定を締結し、それぞれの大学等と連携推進会議</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
	<p>が、現状はNPO法人の仲介による結びつきが殆どかと思う。大学と連携し、まちづくりや地域活性化に関する実践型の授業を開設して頂く事は大いに期待したいと思うが、それと同時に大学に対しても各地域の情報提供を常時更新していく様な仕組みを作っていく事も必要かと思うがいかがか。</p>	<p>を毎年開催しており、その中で、連携事業や市政に関する意見交換を行っているところである。</p> <p>加えて、3月の議会で明年度予算をお認めいただければ、大学・学生と地域とをつなぐ仕組みの構築に関する調査・研究を行う予定としており、大学に対する地域情報の提供の仕組みについても、その手法や内容を含め検討していきたい。</p>
16	<p>〔ネーミングライツ等〕に関して</p> <p>ネーミングライツの導入や公共施設の広告等、民間活力による支援活動はとても良い事だと思う。広告等も金沢市らしい！を守りながら他都市の実例を参考に展開していくことが大切だと思う。スポーツの次世代への投資の意味もあり、是非、いろんな分野での展開があるように思う。高校駅伝大会で石川県は47都道府県中45位あたりである。金沢マラソンを継続していながら、金沢の子供たちに、マラソンや陸上が定着しないのは残念です。金沢マラソンを見て、走る事に興味がわくという子供たちを育ててほしい。同じように、金沢プールでの一流選手の水泳競技をみて、私も僕も…という夢を持ってほしい！ネーミングライツや広告が、次世代の教育につながることを望むが、いかがか。</p>	<p>(文化スポーツ局長)</p> <p>金沢マラソンへのご意見については、今年の大会前日にフィニッシュ会場で小学生の親子や車いすでも参加できるファンランを実施することとしている。子どもたちや障害のある方にも金沢マラソンを体験してもらいたいと考えており、スポーツ共生社会の実現を進めてまいりたい。</p> <p>新市民サッカー場へのネーミングライツ導入やホームタウンチームが使用する施設での広告事業は、施設の良好な維持管理及びホームタウンチームの活動支援を行う財源に充てる予定である。</p> <p>ネーミングライツで命名される「金沢スタジアム」の愛称の周知をとおして、スポーツの応援機運を醸成し、次世代の子ども達にスポーツの楽しさや素晴らしさを伝えるとともに、夢と希望を与える環境の創造に努めていくものである。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
17	<p>〔働き方改革〕に関して</p> <p>金沢市職員の働き方改革を、他の模範となるように対応してほしい。ボランティア活動、地域活動も率先して参加できるように、ボランティア休暇等奨励して頂きたいが、いかがか。</p>	<p>(人事課長)</p> <p>働き方改革については、令和2年4月からの時差出勤制度の拡充のほか、令和3年7月からテレワークを本格実施し、職員の多様な働き方の推進に取り組んできた。これらに合わせ、行政事務のデジタル化により事務の効率化や事務事業の見直しを進めているとともに、オンライン申請の拡大など、市民の利便性の向上にもつなげているところである。</p> <p>ボランティア活動や地域活動については報酬を得ない場合は、年次有給休暇とは別の「特別休暇」の対象となるほか、令和2年11月には、報酬を得る場合であっても安心して従事することができるよう許可の基準及び手続の明確化等を図った「金沢市職員地域貢献活動応援制度」を創設し、職員の地域活動を応援しているところであり、今後とも制度の周知に努め、職員の自発的な活動を促進していきたい。</p>
18	<p>〔子育て施策〕に関して</p> <p>行政経営プランにあるとおり、質を高めるのは大事であると思うし、人口減少社会において、金沢市全体の質を高めるためには、まずなにより、金沢市の人口を増やしていくことが重要である。人口を増やしていくためには、子育て施策を手厚くすることが重要であり、他都市と比べても、画期的な子育て施策が必要だと思うが、いかがか。</p>	<p>(こども未来局長)</p> <p>国の少子化社会対策大綱によると、少子化の主な原因は、未婚化・晩婚化であるとされており、その背景には、経済的な不安定さや出会いの機会の減少のほか、子育てと仕事の両立の難しさ、家事・育児の負担が依然として女性に偏っている状況など、様々な要因があげられる。加えて、石川県においては、20～24歳の女性の大都市への転出も目立っている。</p> <p>こうした状況の中、本市では、若者や女性が活躍できるよう雇用の確保とワークライフバランスの推進に全力を尽くすとともに、結婚を希望する人に出会いの場を提供するかなざわ婚活支援事業にも取り組んでいるところである。</p> <p>併せて、子育てにかかる保護者負担の軽減を図るため、様々な施策も進めており、安心して子育てできる環境の充実に努めているほか、来年度は、子育て支援の指針となる次期かなざわ</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
		<p>子育て夢プランの策定に向け、未来を担う若者の意見をこれまで以上に政策に反映することとしている。</p> <p>本市独自の施策としては、児童の豊かな感性と情操を育むため、3月の議会で明年度予算をお認めいただければ、保育施設独自の文化芸術プログラムの実施や児童館が取り組む文化芸術活動を支援することとしており、本市の強みでもある文化を生かした施策を充実し、子育てをしたいと思えるまち金沢をめざしていきたい。</p>
19	<p>〔障害のある方に配慮したデジタルを活用した情報発信〕 に関して</p> <p>「20 障害のある方に配慮したデジタルを活用した情報発信」について、非常に良いと思うが、実施計画のなかに『就労支援に対する情報発信』もあればよいのではないかと思うが、いかがか。</p>	<p>（福祉健康局長）</p> <p>昨年5月に、障害のある方の情報の取得と円滑な意思疎通、コミュニケーションを保障することを目的とした、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行された。これに伴い、市の施策を検討するため、金沢市障害者施策推進協議会に情報分野の学識経験者や障害のある方本人から構成する専門委員会を設置し、協議を行ったが、この専門委員会の提言に基づくものを掲げている。</p> <p>就労支援は、障害のある方の自立や生きがい創出など非常に重要な分野だが、そのほか、就学や医療、福祉サービス、年金など、障害がある方にとって必要な情報は多岐にわたっている。これらの情報を障害の種類や程度、年齢に応じて取得できるよう取組んでいきたいので、ご理解いただきたい。</p>
20	<p>〔PTAとの連携〕に関して</p> <p>基本方針 方針2「共創の質を高める」にある協働の推進の中で、様々な主体、民間との協働例が挙げられて居るが、地域コミュニティに属するであろう学校PTA、育友会との市政としての直接の関わり、パイプとい</p>	<p>（教育長）</p> <p>教育委員会が直接話をさせていただくのは、金沢市PTA協議会になるが、定期総会や研究大会等に参加し、教育委員会の方針や考えを伝えたり、金沢市PTA協議会や、小中学校の保護者の方々が感じている様々な教育課題、要望について意見交換している。また、理事会への</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
	<p>うのはどういった形で連携を取られているのか伺いたい。金沢市PTA協議会、県PTA連盟などなどがその母体になるのであれば、もう少し市のこういった方針や経営プランなどを共有する機会を設けられることを提案したい。</p>	<p>担当職員の出席や研修会での講演などを通じて、連携を図っている。</p> <p>一方、市PTA会長及び役員には、市社会教育委員をはじめ、教育や子育てに関する各種審議会・委員会の委員として参画していただき、貴重なご意見をいただいている。</p> <p>今後も様々な機会をとらえて、市の方針等についてもお伝えし、協働を進めていきたい。</p>
21	<p>〔ドローンを活用した危険箇所の点検等〕 に関して</p> <p>「5 ドローンを活用した危険箇所の点検等の実施」について、こちらの活用に合わせて、市民に、道路に関して、動画や写真などで投稿、投書して調査、点検依頼をもらう形で危険箇所の把握をしてはどうか。またそのような方法が既に存在すれば、ご紹介いただきたい。</p>	<p>(土木局長)</p> <p>本市では令和2年度より「金沢市道路損傷通報サービス」として、道路の損傷などをスマートフォン等で写真を添付し通報するサービスを行っており、危険箇所を把握するとともに、損傷箇所の修繕を実施している。詳細はホームページに掲載しているので、ぜひご利用いただきたい。</p> <p>なお、通報内容の確認は開庁時間内となることから、がけ崩れや道路陥没などの緊急対応が必要なものについては、従来どおり電話での連絡をお願いしている。</p>
22	<p>〔学習系・校務系システムデータの連携〕 に関して</p> <p>「6 市立小中学校の学習系・校務系システムデータの連携」について、具体的な令和5年度の実施内容など解る範囲で紹介していただきたい。</p>	<p>(教育長)</p> <p>G I G Aスクール構想により導入された1人1台の学習用端末や、令和4年度から本格的に運用を開始した校務支援システム等のICT環境下において、蓄積された様々なデータを広く連携することで、教え方や一人一人の子供に応じた支援に活用するとともに、働き方改革を推進していきたいと考えており、現在、「金沢スマートスクールプロジェクト」の構築に取り組んでいる。本プロジェクトにおいて、学習系の情報と校務系の情報を連携させながら、学校全体の可視化、学級全体の可視化、児童生徒の状況の可視化することで、学習指導や生徒指導、学校経営の充実や保護者への情報提供を進めよう</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
		<p>としているところである。</p> <p>令和5年度は、3月の議会で明年度予算を認めただけであれば、4校程度のモデル校において、児童生徒がその日その時の「気持ち」を学習用端末から入力することで蓄積される情報（学習系）と、出欠状況や成績等の情報（校務系）を組み合わせることで見えてくる課題や成果を他の小・中学校に発表するモデル事業を考えているものである。</p>
23	<p>〔太陽光発電設備〕に関して</p> <p>「70 公共施設への太陽光発電設備の設置推進」について、森山町小学校、泉中学校が最初に設置となった理由と、初期設置のおおよその費用をお聞かせいただきたい。</p>	<p>（環境局長）</p> <p>市有施設への太陽光発電設備の設置は、今回初めて実施するというのではなく、施設の新築や改築の際に適時進めてきている。今回の森山町小学校は令和2年に、泉中学校は平成29年にそれぞれ改築されているが、当初から両校は、各地域の避難施設としての役割を担うことが想定されており、建築設計の段階から太陽光発電設備の設置等ができるよう設計されていたことから、今回、整備を進めることになった。</p> <p>費用については、国補助も活用の上、両校で概ね85,000千円程度を見込んでいる。</p>
24	<p>〔関連予算の記載〕に関して</p> <p>取り組みの達成状況の見える化について、本委員会の第一回の質問で未確定の予算や優先度を記載する予定はないとお聞きしたが、取り組みごとの実績として、関連予算や内訳などを記載する予定はあるか。行政経営プラン自体に限られた行政資源の有効活用を念頭に置いていると思うので、おおまかにでも取り組みごとに予算配分が記載されている方が取り組みの規模感や結果の妥当性が分かりやすいと思う。</p>	<p>（デジタル行政戦略課長）</p> <p>予算については、議会の承認が必要なことから、一律に予算額を記載することはできないことをご理解いただきたい。</p> <p>ただし、実施に必要となった経費をお示しすることが、取り組みの成果をわかりやすく伝えることにつながる場合は、実施結果に記載していきたい。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
25	<p>〔電子申請〕に関して</p> <p>「8 電子申請の拡大」について、市役所に行かずに、いつでもどこでも多様な申請ができるのは大変ありがたい。実施計画に「手続きの拡充」とあるが、具体的に対象となる手続き、年度ごとにどの程度拡充される予定なのか、現時点での見通しを教えてください。</p>	<p>(デジタル行政戦略課長)</p> <p>これまで、年間の利用件数が 100 件を上回る手続きから優先的に電子申請を進めてきた結果、現在、400 件程度の行政手続きが申請可能となっており、その利用実績も、昨年度の 3 万件から今年度は 7 万件を超える見込みとなるなど、仕組みが定着してきていると思っている。</p> <p>一方で、対面による窓口サービスは継続することから、来年度は、窓口サービスを含めて、デジタルにより事務処理を行う仕組みを構築していくこととしている。そのため、現時点で、具体的な数値目標は設定していないが、そうした仕組みを構築したうえで、来年度以降、具体的な数値目標を設定したい。</p>
26	<p>〔職員による課題解決アプリ〕に関して</p> <p>職員による課題解決アプリの実践とあるが、例えばどのようなものを想定されているのか。</p>	<p>(デジタル行政戦略課長)</p> <p>開発を事業者に委託するような複雑なものではなく職員自らが、より柔軟に安価で開発できるシステムを想定しており、エクセルで管理していた台帳を複数の課で利用できるシステムやメールなどを使用しなくても情報を共有できるシステムなど、職員にとって、より便利で、効率的に事務処理できるものを想定している。</p> <p>また、アプリの作成ツールには、行政情報を地図情報として表示する機能や、登録されている市民や企業に自動でメールを送信する機能なども備わっていることからそうした機能を組み合わせながら、市民サービスを向上しつつ、職員の効率も高まるような新たな仕組みを構築していきたい。</p> <p>なお、数値目標については、デジタル行政推進リーダーを毎年 20 人育成していく中で、その半数がアプリ開発をしていくことを想定し、設定している。</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
27	<p>〔共創プラットフォーム〕に関して</p> <p>共創プラットフォームの活用を推進していく上で、各町会連合会などへの内容の説明や周知の働きかけは考えているのか。</p>	<p>(市民局長)</p> <p>地域課題の解決に向けて、市民や団体等がインターネット上でディスカッションを行い、解決に向けた協働を行うための共創プラットフォームについては、今年度はシステム構築と実証実験を実施しており、明年度は、3月の議会で明年度予算をお認めいただければ、4月から7月にかけて試行運用を行い、8月から本格運用を行うこととしている。</p> <p>運用を開始するにあたっては、ホームページ等で周知を行っていくほか、町会連合会の理事会等でも紹介と説明をさせていただき、幅広い主体から地域課題、また、それらに対する解決アイデアや意見等を募り、解決に向けた協働の実施につなげていきたいと考えている。</p> <p>なお、共創プラットフォームの稼働の際には、名称を「地域課題解決マッチングボックス」とすることとしている。</p>
28	<p>〔地区防災計画〕に関して</p> <p>地区防災計画の作成や更新に際し、各地区から指南を求められたときのサポート体制はあるのか。</p>	<p>(危機管理監)</p> <p>本市では、各地区における防災力の向上を目的として、平成30年3月に「金沢市地区防災計画策定マニュアル」を作成した。</p> <p>地区防災計画は、各地区の特性や想定される災害への自発的な行動について、地区居住者自身が主体となって策定する計画である。</p> <p>本市では、当該計画の策定及び更新にかかる経費への補助制度を設けており、また、未策定の地区に対しては、自主防災組織等への説明や助言を通じて、計画の策定を後押ししている。</p> <p>当該計画は、幾度でも見直しが可能であり、その都度、補助を受けることができる。先程、委員からも話があったが、本市のマニュアルを雛型にして真似る形で良いので、まずは作ってみることが最も大切であると考えている。</p> <p>今後も、引き続き、問い合わせ等に対し、丁</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
		<p>寧な説明に努めるとともに、要望があれば講習会などの開催を通じてサポートしていくので、どのようなことでも遠慮することなく、お尋ねいただきたい。</p>
29	<p>〔再生可能エネルギー設備〕 に関し 公共施設への太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の設置を推進とあるが、どの程度の電力供給が可能なのか。また、施設の安全性や景観の面にも配慮されていることはあるのか。</p>	<p>(環境局長)</p> <p>電力供給量については、設置対象となる施設数や、発電設備の設置可能面積等によって、発電電力量が左右されるため、現時点で具体的な数値を示すのは難しい。本市における温室効果ガス排出量削減を図るため、再生可能エネルギーによる発電量を増やしていくことが重要であると考えており、費用対効果等も勘案の上、設置可能箇所の調査も実施しながら、可能な限り設置を推進していきたい。</p> <p>また、設備の設置については、委員指摘の景観面への配慮や、市民の安全安心な生活環境を確保することが重要であり、昨年12月には、再生可能エネルギー発電設備の設置可能区域や設置基準、必要な手続き等を明らかにした条例を制定している。この条例に基づき、安全性や自然環境等にも十分配慮しながら、再生可能エネルギー発電設備の適正な設置を進めていきたい。</p>
30	<p>〔市立病院の再整備〕 に関して 「66 市立病院の再整備検討」について、令和5～8年度の実施計画がいずれも「再整備の検討」となっているが、「めざす姿」には「再整備に着手している」と記載されており、やや矛盾を感じる。市立病院についてはこれまでもその在り方が検討されてきているし、「90 金沢市立病院経営強化プラン（仮称）」</p>	<p>(市立病院事務局長)</p> <p>市立病院の再整備にあたっては、令和2年2月に「市立病院の今後のあり方検討会」から、提言をいただき、その後コロナ渦にあっても可能な限り、提言の各内容の具現化に向け、周辺公立病院との比較分析や、感染症への対応状況、福祉・保健部門との連携などの調査・検討を行ってきた。</p> <p>今後は、これまでの調査内容や石川県の地域医療構想の検討状況等を踏まえ、新病院に求められる機能や規模など、新病院のあるべき姿を</p>

No	委員の意見要旨	回答要旨
	<p>の策定」も予定されているが、「再整備の着手」の具体的な目途はまだ立たない状況か。現状についてもご説明いただければと思う。</p>	<p>基本構想というかたちにまとめていく予定である。</p> <p>その後、移転用地を確保した上で、基本計画、基本設計、実施設計を経て建設着手となる。現段階では、建設着手までの具体的なスケジュールをお示しできないことから、行政経営プランにおいては、ご指摘の表現となっている。</p> <p>なお、基本構想の策定については、明年度予算案に盛り込んだところであり、3月の議会でお認めいただければ、構想策定の中で具体的なスケジュールについても検討していきたいと考えている。</p>